

# 羽ばたけ! こどもたち

大堀 寛人

⑱

とした体験保育は、こどもたちの「暗黙知」を育てることが大きな狙いです。

例えば、こどもが「努力」という言葉を覚えただけでは、本当の意味は分からないでしょう。言葉では伝え切れないことを実感させるための活動が体験保育です。大切な活動の一つに、「山登り」があります。体力と気力、集中力を要し、多くの試練を乗り越えなければなりません。

やっとの思いで頂上に到着したとき、こどもたちは目の前に広がる瀬戸内海を見て思

わず「バンザイ」と叫んだり、汗をかいた体に触れる風を心地良く感じたりして、達成感に浸ります。「頑張ったね」という先生のねぎらいに、「努力」という言葉の意味を肌感覚として知るのである。

一方で、教科書でものごとを習う方法があります。脳に言葉の知識をすり込んでいくわけですが、生活の中で、この方法が通用しない場面はたくさんあります。自転車に乗れない人が、乗り方を教科書で学んだところで、実際に乗ってみたいことにはマスターできません。言葉で知ることが、心の「感覚」で知っていることと結びついて初めて

「暗黙知」という言葉を、ご存じでしょうか。ハンガリーの哲学者マイケル・ポロニーが提示した概念で、簡単に言えば、「体験を通してでしか知る事ができないこと、言葉では表現しにくい心や体の感覚としての知識」。実は、「ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ」の外遊びを主

## 暗黙知を育てる

## 言葉の意味 体験で理解

て、「分かった」と言えるのり組みを、これからも続けていこうと考えています。

こどもたちの中に「暗黙知」の分野が育ってないと、「知っているけど、実感としてわ

こどもたちの「生」の根幹をはぐくむ取

〓おわり



梅の実を収穫する大堀園長とこどもたち。「これが梅干しになるの?」。体験こそ偉大な教科書 (園提供)

(ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ 〓 広島市西区 〓 園長)